

研究課題名

血液透析患者における細胞外液/細胞内液比 (E/I 比) と modified creatinine index (mCI) が生命予後に及ぼす影響について

研究グループ

研究責任者：矢島 隆宏 (松波総合病院 腎臓内科)

共同研究者：荒尾 舞子

研究の目的および概要

血液透析患者さんにおいては、体液貯留と低栄養状態が生命予後を悪化させることが知られています。一方、低栄養状態はサルコペニアをもたらす可能性があります。我々は、生体インピーダンス法による細胞外液/細胞内液比 (E/I 比) が、体液貯留と低栄養状態を同時に評価し、さらに生命予後の予測因子であることを報告しました。今回、E/I 比と、サルコペニアの指標として用いられるようになった modified creatinine index (mCI: 年齢, 性別, 血清クレアチニン, 尿素クリアランスより計算) との関連を評価します。さらに、E/I 比と mCI の組み合わせにより、生命予後予測能が改善するか検討します。

この研究では、2009 年から 2019 年に当院にて外来維持透析中で、生体インピーダンス法にて体組成の測定がされた患者さんを対象とします。対象者の方々の診療記録と検査データ (血液, 生体インピーダンス法により得られた E/I 比) を用い、生命予後との関連について後ろ向きに分析を行います。2020 年までの生命予後を評価します。

検査データやカルテに含まれる情報をこの研究に使用する際には、個人の氏名の代わりに研究用の番号をつけて取り扱います。また、カルテを閲覧する研究者は最小限とします。研究用の番号がどなたのものであるかを示す対応表のファイルは、パスワードをつけて病院内のインターネットに接続できないコンピュータに保管し、研究終了後 5 年間保存後廃棄します。研究成果の発表に際し、個人が特定できるような情報が公開されることはありません。

利用する情報の項目

カルテ情報：診療記録と検査データ (血液, 生体インピーダンス法により得られた E/I 比)

利用するものの範囲

矢島 隆宏

連絡先

松波総合病院

腎臓内科

矢島隆宏

TEL: 058 388 0111 代

FAX: 058 388 4711